

【北海道大学 サステナビリティ・ウィーク 2010 参加企画】

グリーンな福祉国家は可能か 社会保障・環境・経済の新しい連携

主催：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター

共催：文部科学省科学研究費基盤研究（A）

「日本型福祉・雇用レジームの転換をめぐる集団政治分析」

文部科学省科学研究費基盤研究（S）

「市民社会民主主義の理念と政策に関する総合的考察」

自然環境の持続可能性（環境政策）、世代再生産の持続可能性（社会保障政策）、経済社会の持続可能性（経済財政政策）は、相互に排他的な関係にあるとされてきました。ところが今日、この3つの領域の連携が注目されています。

このシンポジウムでは、環境、社会保障、経済の連携の接合点としてのグリーンな福祉国家の可能性を考えます。定常型社会の視点から福祉政策を論じてきた千葉大学の広井良典教授に基調講演をいただき、後半は本研究科教授の山口二郎、宮本太郎も加わって、パネルディスカッションをおこないます。

基調講演

広井良典（千葉大学）

パネルディスカッション

山口二郎（北海道大学）

宮本太郎（北海道大学）

日時：2010年11月1日（月）14：00～17：00
（開場 13：30）

会場：北海道大学 学術交流会館 小講堂

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

※入場無料、事前の参加申し込みは必要ありません。

お問い合わせ

北大法学研究科附属高等法政教育研究センター 電話（011）706-4005